

会費の割引を受ける会員種別「特典会員」について

2023年11月17日通知
2023年11月21日補足修正
2023年11月30日補足修正

2023年国際大会の代議員投票により新設された会員種別について、2023年10月カイロ国際理事会で再度検討が行われました。

これは「会員種別」であり、家族会員、レオライオン会員、学生会員、若年成人会員などの「会員プログラム」により、減額された会費を支払うことを認められたすべての会員が含まれます。

この新たな種別は、会費を全額支払う正会員とまったく同じ権利を持ちます。唯一異なるのは、クラブから地区大会、複合地区大会、国際大会に送ることのできる代議員数を計算する際のクラブ会員数にはカウントされません。

また、「割引会員」という言葉が、会員そのものが割引された立場であるかのような印象を与えるのご意見をいただき、翻訳通訳を管轄する地区およびクラブ行政部太平洋アジア課で再度見直しが行われた結果、「特典会員」を訳語として選択することに変更されましたのでお知らせいたします。

なお、10月の理事会では、「1年と1日」との表現の解釈を改める決議がなされました。この会則解釈の調整に伴い、連続した1年と1日の間、一つのクラブで会費全額を支払った会員のみが、クラブの代議員資格総数の計算に算入されることになりました。

ただし、割引会員が2023年12月15日までに会費を全額支払う会員に変更された場合には、1年と1日の条件を満たしていなくても、2024年に開催される大会の代議員資格総数の計算には算入されます。

次ページに掲載したものは、新たに整理された会員種別表です。ご確認ください。

この会員種別表は、新たに特典会員が加わっただけでなく、右側から2つの列について、代議員数算出の対象であるかどうかを示しているのか、その種別が代議員になれるか否かを示しているのかあいまいかつ混乱した記述がありましたので、下の通り修正いたしました。

現在ウェブサイトに掲載されている国際理事会方針書第17章「会員」及び第7章「会則付則」の付則添付物として掲載されている会員種別表については、追って修正されますが現在は不正確な部分がある点、ご注意ください。

会費即時支払（クラブ、地区、国際）の項目に関しては、それぞれの種別に応じて、権限を有する組織の会則付則によって支払い義務があるとされた場合、誰が支払い義務を有するかを示しております。これまでも正会員である家族会員の地区費複合地区費、あるいは終身会員の会費について地区や複合地区、あるいはクラブの会則付則で減免を規定されてこられたように、特典会員に関しても、これをしてはならない、という規定ではないことを申し添えます。

現在の家族会員、レオライオン会員、学生会員、若年成人会員が、代議員資格総数の計算に算入される必要を感じない場合には、何も手続きをする必要はありません。その場合は、これまで通り減額された会費となり、自らが代議員となる資格、奉仕活動に参加し、役職に立候補する資格も正会員と同様に与えられます。

会員種別表

| 種別 | 会費即時支払 (クラブ、地区、国際) | クラブ活動参加 | 良い印象を与える言動 | クラブ、地区又は国際の役職への立候補資格 | 投票権・自身が代議員になる資格 | 地区又は国際 の大会の代議員 数算出の対象 |
|---|-------------------------|-----------|------------|----------------------|---------------------------------|-----------------------------|
| 正会員 | 必要 | 必要 | 必要 | 有 | 有 | 対象になる |
| 賛助会員 | 必要 | 可能な時 | 必要 | 無 | クラブ事項のみ | 対象になる |
| 準会員 | クラブ会費のみ支払う | 可能な時 | 必要 | 無 | 地区大会（第一クラブ） クラブ事項（第1及び第2クラブ） | 対象にならない |
| 特典会員 [本項は 2024年1月 1日施行] | 必要 | 必要 | 必要 | 有 | 有 | 対象にならない |
| 名誉会員 | 必要なし クラブが国際及び地区の会費を支払う | 可能な時 | 必要 | 無 | 無 | 対象にならない |
| 終身会員 | クラブ及び地区の会費を払い、国際会費は払わない | 可能な時 | 必要 | 正会員の義務を果たしていれば有 | 正会員の義務を果たしていれば有 | 対象になる |
| 不在会員 | 必要 | 可能な時 | 必要 | 無 | クラブ事項のみ | 対象になる |
| 優待会員 | 必要 | 可能な時 | 必要 | 無 | 有 | 対象になる |

■今後の手続き

割引会員の会員種別に対応するシステム変更が期日までに実施されない可能性があります。現在の家族会員、レオライオン会員、学生会員、若年成人会員が、代議員資格総数の計算に算入される全額支払う会員に変更されたい場合には、MyLCI上で2023年12月15日までに（日本時間の12月16日午後3時）正会員に変更する手続きを行ってください。までに、MyLCIにより

対象会員について「会員割引を放棄する」をクリックし、変更の手続きを行ってください。
MyLCI の手続き方法については別紙を参照ください。

ご存じの通り、国際協会では現在すべての会員システムをセールスフォースに移行する作業を進めており、その関係で現行の MyLCI へのシステム変更は行われな可能性が高い状況です。
(結論が出ていないためはっきりせず申し訳ありません。) そのため、今回は代議員数算出の際の対象になるという意味が正しく反映されることが重要であるという判断から、現在の家族会員が割引を受けない家族会員として登録されたい場合には、今回は正会員への変更手続きを行ってください。ます。

担当部長によりますと、セールスフォースへの移行と会員システムの準備が整った際には、家族会員として登録し、「会費の割引を辞退する」という選択をすることが可能になるそうです。
従いまして、「国際会費全額を支払う家族会員」というカテゴリーで登録・把握することは可能になります。

また、他の会員種別や会員プログラム同様、1月1日以降に全額を支払う正会員の選択をした割引を放棄した会員が割引を受ける家族会員へと変更することは可能ですし、逆もまた可能です。ただし、割引を受ける特典会員となった家族会員が全額を支払う会員になる場合には、導入当初の例外期間を除き、1年と1日以上継続してその会員種別である必要が生じます。

また、全額を支払う家族会員は、特典会員に移行する可能性があるという意味で、世帯主の家族会員とは異なります。

特典会員という会員種別を設けた理由はすでにご説明した通りです。奉仕活動やクリスマス例会などのみに参加し、代議員数に反映されることなどを必要としていない家族会員はそのまま現状維持としていただければ問題ありません。

家族会員プログラム、学生会員プログラムなどの会員プログラムは、その分野を新たな奉仕の担い手として開拓したいという国際協会の意思を反映して作られた会員プログラムであり、その意思に変わりはありません。

協会のシステム変更についてが明らかになりましたら、今後のシステム上の対応等については改めてご説明申し上げます。

ライオンズクラブ国際協会
OSEAL 調整事務局
事務局長 マーズ佐子